



ブラジルの政策金利の引き下げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2016 年 10 月 18 日・19 日に開催された COPOM(金融政策委員会)において、大方の市場予想通り Selic(政策金利)を 0.25%引き下げ、年率 14.0%とすることを決定したと発表しました。

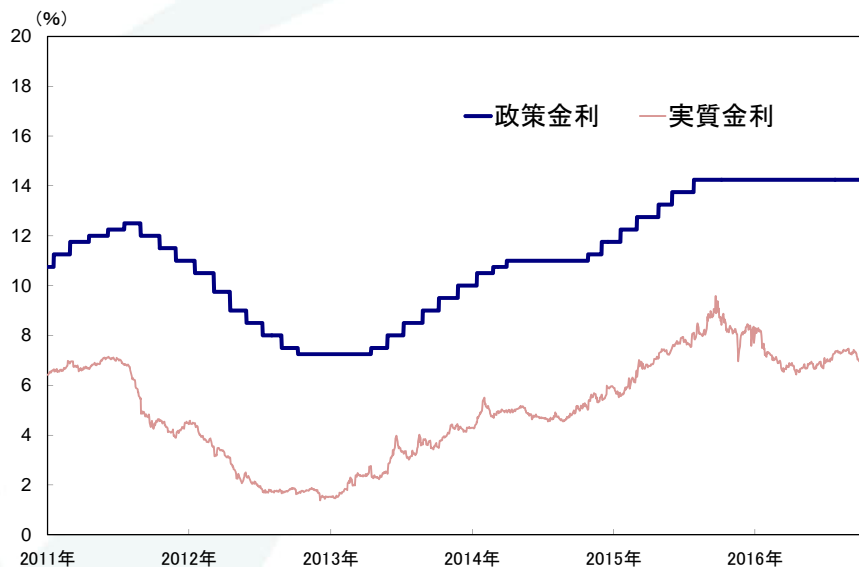
ブラジル中央銀行は、2015 年 7 月 29 日に Selic を 14.25%に引き上げて以来、約 1 年 3 ヶ月にわたり Selic を据え置いてきました。また、今回の利下げは、2012 年 10 月以来、4 年ぶりの事となりました。

9 月の拡大消費者物価指数(IPCA)は、8 月の前月比+0.44%を下回る同+0.08%の上昇に留まり、前年同月比も事前予想の 8.60%に対し 8.48%となったことから、インフレ率の上昇傾向が弱まったと同時に落ち着きつつあるとの見方や、下院で歳出上限を定めた憲法改正案を可決した事などから、金融緩和の条件が一部揃ったとの判断が下されたものと思われます。

しかし、19 日ブラジル地理統計院(IBGE)が発表した 8 月のサービス部門売上高は前年同月比 3.9%減、18 日発表された 8 月の小売売上高も同 5.5%減など、ブラジル経済が低迷からの脱却に苦戦している事を示す経済指標が発表されるなど、テメル大統領の景気回復への取り組みは依然として厳しい状況が続くものと見られます。

年内は、あと 1 回 COPOM の開催が予定されていますが、国内景気の状態によっては、追加利下げが行われる可能性もあることから、市場動向を注視してまいります。

ブラジル政策金利と実質金利の推移
(2011年1月～2016年10月19日)



2016年10月19日
14.25%→14.00%へ
0.25%の引き下げ

*政策金利:Selicを使用。*実質金利:名目金利とインフレ率を使用し算出
*出所:ブラジル中央銀行のデータよりBNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

